

今後の主要論点

対応方向(案)

「担い手」として明確化すべき経営形態の考え方

- ・ 一定程度規模拡大が進んでいる酪農、肥育経営について、どう考えるのか。

- ・ 経営規模の拡大が進んでいない肉専用種繁殖経営について、どう考えるか。

(基本的考え方)

効率的かつ安定的な畜産経営及びこれを目指して経営改善に取り組む畜産経営を「担い手」として位置づけることが適当

このほか、肉用牛の繁殖経営と肥育経営の分離や、産地銘柄化の推進等畜産の特性や地域の実情に即した一定の要件を満たす営農形態についても「担い手」として位置付ける方向で検討

(肉専用種繁殖経営)

一定規模以上の飼養頭数を有する効率的かつ安定的な繁殖専門経営を「担い手」として位置づけることが適当。また、小規模複合経営を地域ぐるみで支えている実態にも即しつつ、「担い手」につき更に検討。

畜産における「サービス事業体」の位置付けについての考え方

(サービス事業体)

畜産経営におけるヘルパー、飼料生産におけるコントラクター等のサービス事業体については、その機能に応じた位置付けが必要

経営安定のための施策の在り方

経営安定対策における対象経営の捉え方について検討する必要

今後想定される国際規律の強化等に対応するための経営安定のための施策の在り方について検討が必要

人材の育成・確保の在り方

新規就農者に対する研修体制の整備・円滑な経営継承対策の実施や、女性の担い手としての積極的位置付け、高齢者の力をヘルパー活動等を通じて利用できる環境の整備が必要

今後の主要論点

対応方向(案)

国際化に対応し得る 生産流通加工の構築

生産段階におけるコスト低減や省力化の推進など経営体質強化のための施策等の在り方

(酪農)
法人化の推進、コントラクターやヘルパーの経営支援組織の普及・定着、搾乳ロボットの導入等新しい飼養管理技術の普及が必要

(肉用牛)
繁殖めす牛の分娩間隔の短縮、和子牛の出荷月齢の早期化が必要
肥育期間の短縮や繁殖・肥育一貫経営への移行による生産コストの削減が必要

畜産物の加工・流通・販売コストの低減・合理化

(牛乳乳製品)
集送乳コストの削減と乳業工場の計画的な再編・合理化による流通・加工段階でのコスト削減が必要

(牛肉)
牛肉の部分肉流通の拡大による食肉流通コストの低減や安全性の向上のための食肉処理・加工技術の高度化が必要

消費者ニーズに対応した生産・供給の在り方

国民の健康志向に対応し、牛乳の効果のPR等を通じた牛乳・乳製品の需要拡大に向けた取組が必要

業務用・加工用への国産乳用種牛肉の利用拡大が必要

畜産物の安全 安心の確保

畜産物の安全・安心の確保に向けての施策等の在り方

的確なリスクコミュニケーションを行いつつ、国内外における家畜伝染病の発生等に対し、関係機関とも連携の上、適切かつ迅速な措置を講じていく必要

消費者の視点に立った的確な情報提供の在り方

畜産における食育は、ふれあい牧場的なものだけでなく、牧場から食卓に至るまでの現場の実情を理解してもらうとの視点が必要

トレーサビリティの目的・役割についての関係者の共通理解の醸成と社会的コストの負担の在り方について検討が必要

今後の主要論点

対応方向(案)

自給飼料畜産環境

自給飼料を基本とした酪農・肉専用種繁殖経営の確立のための施策の在り方

安全・安心な国産畜産物の供給や、飼料自給率向上の視点から、飼料基盤に立脚した経営が、健康な家畜から生産される畜産物を供給する構造を構築することが必要

飼料生産とたい肥還元のための耕畜連携の施策の在り方

耕種農家におけるたい肥の活用、水田における飼料生産といった資源循環を確立することが必要

多様な大家畜畜産経営の展開と存立基盤の整備の在り方

粗飼料の高品質化、低コスト化等を図るため、機械の大型化によるコントラクター作業の効率化やTMR(完全混合飼料)の普及を図ることが必要
簡易な草地更新の方法の普及、優良品種の普及、耕作放棄地を利用した放牧の普及などを通じた自給飼料の生産拡大が必要

家畜改良新技術

改良及び新技術の普及定着の在り方

家畜改良増殖目標については、消費者ニーズの多様化等に留意しつつ、分かり易い目標とし、家畜改良の意義について国民の理解を得ていくことが必要

新技術の普及のため、安全性・安定性に関する検討を重ねつつ、正確で分かり易い情報提供に努め、国民の理解を得ていくことが必要